

授業概要

社会生活を送っていく上で、日本語で相手に自分の言いたいことを正しく伝えられるかどうかは非常に重要である。分かりやすい日本語とはどんなものか、自分の意見を分かりやすく表現するにはどうすればいいか、これからの社会生活で必要になるとと思われる基本的なコミュニケーション能力を身につけ、向上させられるよう、講義する。

授業計画

第1回	日本語の特徴を考える
第2回	主語と述語のねじれ
第3回	あいまいな修飾関係
第4回	呼応の間違い
第5回	尊敬語、謙譲語、丁寧語
第6回	漢字の知識
第7回	原因・結果・理由①
第8回	原因・結果・理由②
第9回	接続語を正しく使う
第10回	報告文書を作る
第11回	依頼文書を作る
第12回	主張と具体例
第13回	反論を想定した主張
第14回	対比の構造
第15回	授業のまとめと期末試験について
第16回	筆記試験

到達目標

正しい日本語を使って、分かりやすい文章を書くことができるようになる。

履修上の注意

講義形式ではあるが、授業の中で実際に文章を作ってもらい場面が多くあるので、積極的に臨んでもらいたい。日本語話者であれば、特に前提となる知識は必要としない。

予習復習

予習復習の必要はないが、授業の最後に、次回の授業の内容に関連した課題を提示し、出欠確認用紙に記入してもらい予定である。そこに書かれた内容を授業に反映するので、きちんと記入して提出すること。

評価方法

期末試験によって成績をつける。期末試験は、事前に提示した課題に添った作文を含む。また、授業を通して発見したこと、あるいは疑問に思ったことなどを自由に書いてもらう設問を含む予定である。

テキスト

プリントを作成して配布する。